



クラシカルなインテリアが好んで、リビングの一角をウィリアム・モリスのクロス張りに。落ち着いた色みの植物柄は濃いブラウンの床材と好相性です。(2019年版 P6～Fさん宅)



階段を上がる時目が行く壁にベージュ×白のストライプのクロス。天井が高く感じられ、壁に囲まれたスペースにのびやかさが生まれます。(2017年版 P36～Sさん宅)



アンティーク風のシックな色柄のものを1面だけに採用すれば、大柄でも部屋が狭く感じられることはなし。大人っぽい子ども部屋に仕上がりました。(P36～Tさん宅)

## Pattern

[パターン]

ハードル高めの柄ものも  
部分使いなら  
怖くない！

目移りするほど種類豊富な柄ものクロス。部屋全体に用いると個性的になりすぎたり、部屋が狭く感じられる心配があるので、部分的に採用するのが正解です。子ども部屋は子ども自身が選ぶなど、プロセスも楽しんで！



雲の絵柄がキュートな子ども部屋の一角。大人っぽいグレーなら中高生になってもミスマッチ感がありません。マスキングテープで紙飛行機もプラス！(2019年版 P10～Nさん宅)



「空間にワクワク感をもたらしてくれた」というリビングのアクセントウォール。たくさん置いている植物とも相性がよく、無機質なテレビをなじませる効果も。(2019年版 P2～Iさん宅)

アメリカ西海岸のイメージで鮮やかなブルーを採用。トイレの壁は常に目に入る場所ではないので、少し冒険してみる場としてうってつけです。(2019年版 P2～Iさん宅)



寝室のベッドヘッド側にシックなピンクグレイージュ。落ち着いた色のある色みで大人っぽさも演出。白いランプシェードが映えるのも壁の色のおかげです。(P30～Kさん宅)



## Material

[マテリアル]

ちょっぴり  
ハードな雰囲気  
メンズライクに

技術の進化で、近頃の壁紙(クロス)のリアルさは目を見張るレベル。壁を本物の板やレンガで上げるとコストが上がってしまいますが、クロスなら手軽にインパクト大のアクセントウォールが完成！



ご主人の趣味の部屋にとり入れたレンガ柄のクロス。好みの「アメリカンヴィンテージ風」は小物だけでも演出できますが、背景があるとより本格的！(P30～Kさん宅)



コンクリート打ち放しの絵柄のクロスで仕上げたご主人の書斎。ハードな雰囲気を楽しみ、壁の1面だけなので圧迫感がありません。(2019年版 P2～Iさん宅)



「清潔感」も意識して選んだ木目調クロスを寝室に。山小屋のような雰囲気でもリラックス感たっぷり。黒のインテリア小物とも相性抜群です。(2018年版 P30～Sさん宅)

## COLUMN

壁を使って  
わが家を  
素敵に

LESSON  
01

失敗しないアクセントウォールのとり入れ方

壁の一部を別の素材で仕上げ、空間のポイントにするアクセントウォール。インテリア効果抜群なのでぜひあなたらしい色柄で挑戦してみてください。



ラグジュアリーな雰囲気と湿度の調整機能を、テレビ側の壁に採用したLIXIL「エコカラット」で実現。DIYで仕上げた力作です。(2019年版 P10～Nさん宅)



北欧風カラーのタイルで仕上げたキッチン背面の壁が、LDKのフォーカルポイント(目が行く場所)に。(2018年版 P10～Hさん宅)

VARIATION  
タイルで楽しむ  
アクセントウォールも  
人気です！